

# 令和4年度「ふるさと探究講座」参加者募集のお知らせ

大山街道や高津地域の歴史や文化について、より深く学ぶことのできる「ふるさと探究講座」を次のとおり開催します。

◇第1回 12月18日(日)10時～12時

「江戸・明治期に発展した高津の地域医療  
—蘭方医太田家・漢方医岡家の活躍—」

講師：菊地 悠介氏（川崎市市民ミュージアム学芸員）

◇第2回 12月24日(土)13時30分～15時30分

「高津小学校学舎創設150年にあたって  
—育まれた文化とまちの移り変わり—」

講師：鈴木 穆氏（地方史研究家）

◇第3回 1月14日(土)10時～12時

「明治時代、上田家の醤油醸造業」

講師：落合 功氏（青山学院大学経済学部教授）

「医師」(『人倫訓蒙図彙』7巻)  
国立国会図書館蔵、デジタル  
アーカイブより加工)



高津小学校校舎落成  
(大正3年)記念絵葉書



溝口・上田家の  
醤油壺(裏面)



参加費：各回500円 会場：当館2階イベントホール 定員：40名(予定)  
申込方法：大山街道ふるさと館ホームページのメールフォームまたは往復はがきで  
お申し込みください。応募者多数の場合は抽選となります。  
申込締切：メールフォームは、令和4年11月29日(火)17時締切  
往復はがきは、令和4年11月29日(火)必着です。

※ 往復はがきの場合、氏名・住所・電話・希望する講座を記入してお申し込みください。  
詳しくは、募集チラシまたは当館のホームページをご確認ください。

## 【お知らせ】

◆年末年始休館 12月26日(月)～1月4日(水)

※資料の燻蒸を行うため、12月26日(月)から休館とさせていただきます。  
年明けは1月5日(木)から開館いたします。

## 川崎市大山街道ふるさと館 <利用案内>

電話：044(813)4705 FAX：044(712)0034

〒213-0001 川崎市高津区溝口3-13-3

開館時間 ・9:30～21:30 (展示室10:00～17:00)

休館日 ・年末年始(2022年12月26日～1月4日)

施設点検日 ・毎月の最終金曜日 (17時閉館)

ただし、2022年12月は第4金曜日になります。

※駐車は、貸館の利用団体用として、各団体1台とさせていただきます。

※ふるさと館では、イベントホール(定員64名)、  
第1会議室(12名)、第2会議室(30名)、和室(10名)  
が利用できます。「ふれあいネット」から  
お申し込みください。

ふるさと館HP



—ふるさと館案内図—



JR南武線 武蔵溝ノ口駅 下車 徒歩7分  
東急田園都市線 高津駅 下車 徒歩5分

〒213-0001 川崎市高津区溝口3-13-3 Tel: 044-813-4705 Fax: 044-712-0034 http://furusatokan.web5.jp/

## 「大山街道ふるさと館」が開館30周年を迎えました

平成4年8月1日に開館した「大山街道ふるさと館」は、地域の皆様に支えられ、このたび開館30周年を迎えました。日頃のご支援、ご利用、ご協力に心より感謝申し上げますとともに、40周年、50周年とこれからも皆様に愛される運営を続けていきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

次のとおり開館30周年記念の取り組みをご報告いたします。

### 9月23日(金・祝) 開館30周年記念式典開催

「秋のふるさと館まつり」の開始前に、30周年記念式典を行い、高津観光協会、高津区文化協会の各代表の皆様、地元町会長、歴代館長など関係者の皆様にご出席いただきました。鈴木高津区長はじめ来賓の皆様にご祝辞をいただき、30周年を振り返るひと時となりました。



鈴木高津区長のご挨拶

### 9月23日(金・祝)「秋のふるさと館まつり」開催

30周年の節目を飾る「秋のふるさと館まつり」は、たいへん盛況でした。

ピロティでは青空ステージでのダンスや音楽、またピロティと館内で、地域のお菓子屋、パン屋、加工食品、雑貨の出店があり、にぎわいました。館内では、ふるさと館クイズラリーに200の方が挑戦し、参加賞をプレゼントしました。また6種類の子ども向けワークショップでは、親子で楽しい手作り体験をお楽しみいただきました。イベントホールでは各種ダンスが行われ、3階には駄菓子の木村屋さんも出店、いずれも、家族連れでにぎわい、お楽しみいただきました。



### 大山街道・高津のまちの絵・写真の展示

開館30周年を記念して、大山街道にまつわる「絵」や「写真」の募集を行い、応募して下さった方の作品をミニギャラリーに展示しました。応募いただいた作品から、高津のまちを愛する気持ちが伝わってきました。またなつかしい高津の写真もお寄せいただきました。



### 冊子「訪ねて楽しい大山街道」リニューアル版発行

平成24年の初版から10年が経過し、道路や建物などだいぶ変わってきていることもあり、開館30周年を機に地図・写真を全面的にリニューアルして発行しました。大山街道を歩くのに便利です。(税込1,100円)



改訂した「訪ねて楽しい大山街道」

## 大山街道ふるさと館開館30周年記念企画展 12月25日(日)まで 「大山街道と二子・溝口ー 大山まいり・商い・文化 ー」開催中

今回の展示では、大山街道ふるさと館開館30周年を記念して、当館がこの地に設立された原点に立ち寄り、大山街道と二子・溝口の関わりについて、大山まいり、商い、文化という三つの観点から取り上げ、大山街道とともに、この地域が発展してきたあゆみを振り返ります。

川崎市立日本民家園所蔵の江戸時代の「納太刀」(写真右)や、川崎市市民ミュージアム所蔵の「お神酒杵」(写真上左)、高津小学校所蔵の濱田庄司作品(写真上右)など貴重な資料を多数展示しており、地域の豊かな歴史を感じていただければと思います。

展示品および展示の様子



## 令和4年度第1回企画展 4月29日(金・祝)～6月8日(水) 「さとう菊夫作品展 ～心に残る川崎の風景～」報告

この企画展では、近代化していく川崎の徐々に消えゆく自然やかやぶきの民家などの美しい風景を写実的に描き続けた画家、さとう菊夫氏の絵画26点と絵葉書40点以上を展示しました。

二ヶ領用水や多摩川、田畑の残る道など1980年代の川崎の懐かしい風景を描いた作品から、変わりゆく街並みや今も当時と変わらず残る風景に想いを馳せることができる企画展となりました。



展示の様子

## 令和4年度第2回企画展 6月10日(金)～6月12日(日) ふれあいクラブ高津「第28回 趣味の作品展」報告

ふれあいクラブ高津(高津区老人クラブ連合会)の会員の皆様による、丹精込めて制作した絵画、陶芸、手芸、書などの作品が展示されました。今回の展示は、新型コロナウイルスの影響により、3年ぶりとなりましたが、60代から90代の方まで日々培ってきた技術が輝く作品展となりました。

展示の様子



## 企画展「のぞいてみよう昔の暮らしー昭和から平成へー」報告 6月18日(土)～8月28日(日)

主催:川崎市市民ミュージアム 共催:川崎市大山街道ふるさと館

現在は様々な生活道具がありますが、90年前までは暮らしに必要なことは手作業で行われていました。戦後高度経済成長期を経て経済が豊かになり、人々の暮らしは大きく変化しました。

今回の展示では川崎市内で実際に使われていた各時代の生活用具から、昭和から平成にかけての生活の変化を見ることで川崎の歴史や文化を知るきっかけとなりました。また、展示には多くの方にご来館いただき、黒電話やそろばんなどの実際に触れるコーナーでは多くの方がかつて使われていた道具に触れ、世代問わず歴史や文化に興味を持っていただくことができました。夏休みなど多くの小中学生、家族連れが訪れ、延べ3,060人の来場者にご覧いただきました。

展示の様子



## 企画展記念講演会 7月9日(土) 講師:谷 拓馬氏(川崎市市民ミュージアム学芸員) 「高度経済成長期の川崎 ーくらしの変化を探るー」報告

この講演会では、戦後復興を遂げた川崎の高度成長期のくらしの変化の様子をご紹介いただきました。全国のインフラや生活の変化を学んだあとは、戦後川崎の港湾部の発展に伴う戦後復興の様子や、戦前戦後の衣食住の変化を確認しました。そして川崎に次々とできていく団地を、川崎市制ニュースの1960年代頃を中心に映像で見え、当時の川崎が復興し人口も増え活気が出ていく様子が分かりました。

また、座学のあとは展示室で実際に展示品を見ながら解説を聞きました。懐かしい家電製品を前に参加者同士で思い出話をする様子も見られ楽しい講演会となりました。



展示解説の様子

## 夏休み小中学生のためのふるさと発見講座 8月6日(土) 「昔のくらしを調べよう」報告 講師:林 花音氏(川崎市市民ミュージアム学芸員)

小学校5年生以上中学生までを対象に、企画展にそった内容で、100年前からのくらしの変化について「衣」「食」「住」に分けて説明を受けました。洗濯板での洗濯の大変さや、洗濯だけではなく着物を大切に長持ちさせるための洗い張りの様子、洗濯のためにバラバラにした着物をまた縫い直すための道具などの「衣」の部分を見たあと、「食」では、1日程度なら冷やすことのできる氷式冷蔵庫で保管をする生活の大変さを知り、「住」で今の家と昔の家を比べました。

さらに、展示室では、今と昔のくらしの違いを確認しました。実際に展示品を見ることでイメージがふくらみ、積極的に講師の先生と意見交換するなど子どもたちにとっても有意義な時間になりました。



講座の様子

## 令和4年度 第1回 ふるさとまち歩き講座 講師 佐藤 忠氏 5月21日(土)「水の歴史をしのぶ道 - 久地方面 -」を歩く 報告

今回は、武蔵溝ノ口駅から宗隆寺を経て久地円筒分水へ向かい、かすみ堤から多摩川、二子の渡しまで歩く4.5kmのコースでした。一時雨もありましたが、曇り空の中、むしろ歩きやすい気候でした。

久地円筒分水や二子の渡しなどの定番スポットから、七面山と津田山の話や、横土手の話など、当たり前風景がなぜそうなったのかという、地域に密着した話題まで見どころの多い内容でした。参加者から様々な質問が飛び交い、活気ある楽しい講座となりました。



久地円筒分水にて

## 令和4年度 春季大山街道学習講座 報告 講師 對馬 醇一氏

### 第3回 6月4日(土) 三軒茶屋～用賀

東急三軒茶屋駅から松陰神社、世田谷城址公園、豪徳寺、世田谷代官屋敷、東急用賀駅までの約5kmを歩きました。松陰神社で吉田松陰先生の墓所にお参りをしたあと、世田谷城址公園にて室町時代の城郭について解説を受け、次に世田谷城址公園そばの豪徳寺に参拝をしました。まねきねこで有名な豪徳寺は井伊家の墓所があり、桜田門外の変にて死亡した井伊直弼もここに眠っています。最後に世田谷代官屋敷を見学しました。みごとなかやぶき屋根の建物に参加者は皆さんカメラを構えていました。今回は見どころも多く、室町時代から幕末・明治時代まで、大山街道沿いの長い歴史に触れることができる講座となりました。



豪徳寺仏殿にて